

思い思いの仮装で集った参加者たち



Sunday
10/30

多久にお化けが大集合!? 多久 DE ハロウィン2016

多久DEハロウィン2016が、多久市まちづくり協議会と多久市地域おこし協力隊の主催で開催されました。

仮装した親子や家族連れ200人が京町商店街や都通りを賑やかにパレード。子どもたちは商店街のみなさんからお菓子をもらうなど、地域との触れ合いを楽しみました。

その後、あいぱれっとでダンスパフォーマンスや仮装コンテストが行われ、初参加のご家族は「たくさんの参加者がいて驚きました。来年もぜひ参加したいです」と笑顔。多久市まちづくり協議会の松尾美和さんは「商店街が子どもたちとの触れ合いで昔の賑わいを取り戻すきっかけになれば嬉しいです」と話されました。



▲お菓子をもらいながら商店街をパレードする子どもたち

Monday

11/7

多久の新たな賑わい拠点

多久市ワーキングサポートセンター「cocoColor (ココカラ)」オープン

多久駅北側に完成した「多久市ワーキングサポートセンター」の開所式が行われました。このセンターではインターネットなどを活用し、全国から受注した仕事を地方で共有する「ローカルシェアリング (= 共有経済)」事業が行われます。育児や介護の合間など在宅でスキルを生かせる新たな働き方に、注目が集まってきています。また、12月にはエステやヨガなどを行うチャレンジショップ「LoHaSpa (ろはすぱ)」がオープン予定です。

センターの愛称「cocoColor (ココカラ)」には、「ここ、多久から始まる」、
「個々のカラーが出せる場所」という想いが込められています。

集う人の個性が輝く、多久の活性化を担う新たな核として、期待が高まります。



木
の
ぬ
く
も
り
を
感
じ
る
お
し
や
れ
な
コ
ン
テ
ナ
ハ
ウ
ス
が
完
成
!



▲晴れやかにテープカット



▲多くの観光客が美しい紅葉を楽しんでいました

Saturday

11/12

Wednesday

11/23

美しい紅葉が人々を魅了

孔子の里 紅葉まつりを開催

今年で10年目を迎えた「孔子の里 紅葉まつり」。会場となった西溪公園と多久聖廟は今年も見事な紅葉を見せ、連日、県内外から多くの来場者で賑わいました。

メイン会場の西溪公園では国指定登録有形文化財「寒鷺亭」が休憩所として特別開放され、訪れた人々が紅葉を堪能しながら秋のひと時をのんびりと過ごしていました。また、期間中に高取伊好氏の曾孫・高取ヒデアキさんのライブやもみじGardenMarket2016など、さまざまなイベントが開催され、多久に訪れた人々を楽しませていました。

